

## 防災ウォッチング 指導者向け資料

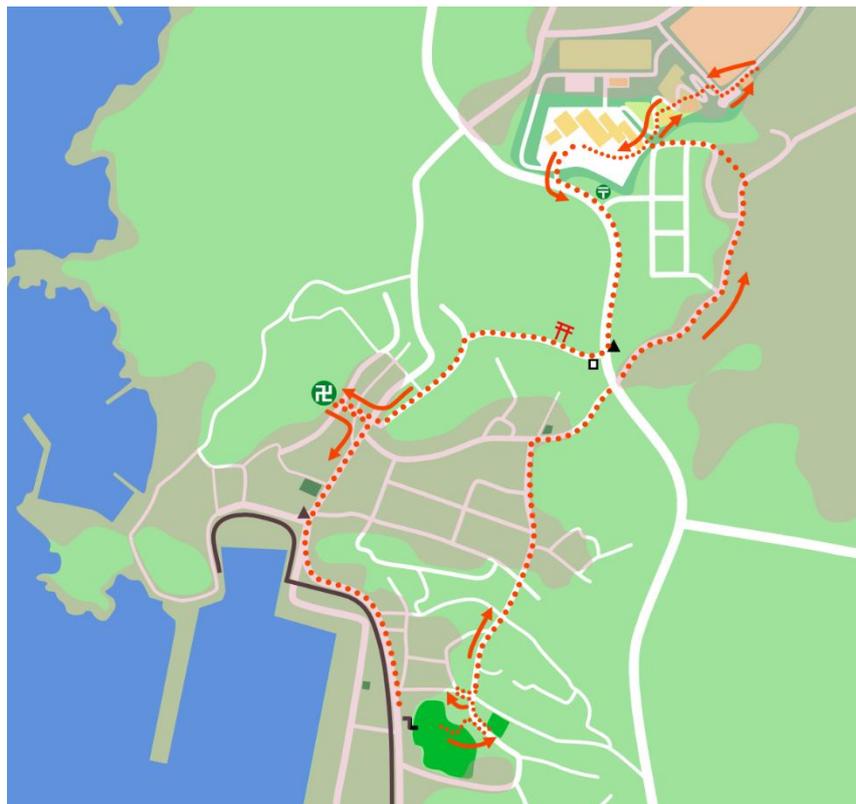
野外活動センター周辺を自分たちの足で歩きながら、広田町内にある震災・防災にかかわる10のポイントを見学します。「見て、感じて、考える」ことを通して、防災意識を高めることをねらったプログラムです。

### コースについて

野外活動センターを出発して広田町内を歩き、センター敷地内にもどってくる約3.2 kmのコースです。

地図内で地面の色がちがう部分は、津波発生時の浸水想定区域です。実際に歩いてみることで、土地の高低差や海の近さを感じたり、避難の重要性を実感としてとらえることができます。

指導者の方も一緒に歩くか、コース途中に待機して安全確認をお願いします。



### 10のポイントについて

震災・防災に関わる史料や建築物など、コース内で10のポイントを見学します。それぞれのポイントに設定されている課題について考え、ワークシートに記入して考えを深めます。

記入したワークシートは、事後学習などにお役立てください。

広田の町並み



慈恩寺



広田中学校の石碑



あずまや



防潮堤



避難階段



かまどベンチ



石碑と桜の木



桜の木



緊急避難路



## ○活動にあたって

- ・ 初めに野外活動センター指導員による説明を行います。説明内容は、活動の内容、進め方、安全面についての諸注意です。
- ・ 団体の指導者の方の指示で、グループごとにスタートしてください。3～5分の間隔をあけて次のグループがスタートすると良いです。団体の人数によって、グループ間の時間差を調節したり、ポイントの順番をずらしたりすることができます。
- ・ ゴールの目安は100分ですが、児童生徒の実態にあわせて設定してください。
- ・ 全員がゴール後、活動のまとめなどは指導者の方が行ってください。
- ・ 実施するにあたって、指導者の方は事前にコースの下見を行ってください。その際、野外活動センター指導員が留意点を説明いたします。当日、実施中の見守り等は各団体でお願いします。

## ○持ち物について

- ・ 体温調節ができる着衣、歩きやすい靴、帽子、リュックやナップザックなど両手が空くバックに【飲み物、雨具(折りたたみ傘、合羽など)、筆記用具】、時計(班で1つ)

## ○その他(利用団体で判断、準備をしていただきたいことなど)

- ・ 3キロ以上歩くコースです。児童生徒が水分補給できるよう準備をお願いします。
- ・ マスクの着用については各学校の方針に基づき、判断をお願いいたします。
- ・ 巡回用に自転車を貸し出しております。職員にお申しつけください。
- ・ 児童生徒のグループ分け(1グループ10人程度まで)をお願いします。